

# だいせん 大山開山1300年

～2018年に鳥取県の名峰「大山」が開山1300年を迎えます～



奈良時代養老二年(七八)出雲の国玉造りの人で依道と云う方によつて山が開かれました。  
「大山寺縁起」によると依道がある日金色の狼を追つて大山に入り一矢にして射殺さんとするれば、矢の前方に地藏菩薩が現れ信心の心がにわかになり弓矢を捨てました。  
狼はいつの間にか老尼と化し依道に話しかけました。この出来事により依道はすみやかに出家、仏道の修行をしこの山に地藏権現を祀りその名を金蓮と改めたと記されています。  
また、「選集抄」にもほぼ同じ説話がのっています。  
(大山寺パンフレットより抜粋)

## 大山寺の開山1300年に向けた取組

平成29年5月 **開白法要**

平成30年5月 **開創法要**

1300年を記念した特別な法要で、参加する皆様方へ御利益をもたらします。

シンボルマーク  
調ふ(とこのう)



調ふ(とこのう)  
必要なものは山が調べてくれる  
調身・調息・調心

大山が望める地域ではいつも大山に手を合わせてきました。それは大山に調べてもらっているから。ブナの森が育む水は、里へ、海へ、そして山へと循環し、伯耆国に豊かな恵みを与えます。

大山さんの恵みをいただければ身体が調ひ、その空気を吸えば息が調ひ、その懐に身をゆだねれば心が調ふ。

平成31年10月 **結願法要**

## 大山寺開創

山岳信仰に帰依する修験道の修行道場として栄えた大山寺。平安時代以降、山岳信仰の仏教化が進むに連れて寺院が増え、最盛期には100を超える寺院と3000人以上の僧兵をかかえるほどになりました。

607年 / 奈良法隆寺

712年 / 古事記

718年 / 大山寺

720年 / 日本書紀

733年 / 出雲国風土記

759年 / 万葉集

788年 / 比叡山延暦寺

816年 / 高野山金剛峯寺

919年 / 太宰府天満宮

※イベント内容は変更になる場合がありますのでご了承下さい。※写真はイメージです。

主催 / 地元大山寺地区